

地域活性化に真面目に楽しく取り組むラボ (連帯先：東栗倉村)

ラボの課題

美作アルプスの豊かな自然と後山にある歴史的・文化的な資源、そして魅力的な特産品を有する東栗倉地区の素晴らしさを学生目線で再発見し、新しい価値を提案することにより、この地区を訪れる人を増やし、地域活性化につなげていく。そこで、棚田で育てた米のブランド化と、天然水「愛の水」の商品化の研究を課題として、その解決に取り組む。

春学期の活動報告

①東栗倉村周辺の調査

東栗倉村周辺の地域がどのような地域活性化活動を行っているのか調べ報告。情報を基に現地に訪れ実際に体験や聞き込みをすることで、新たに気づきを得ることができた。

②東栗倉村の現地調査

護摩供養見学、稲刈り体験、天日干し体験、しめ縄作り、精米体験を行った。これらを通して東栗倉村の棚田米がどのように作られているのかを地元の方と交流しながら知ることができた。「愛の水」という天然水と天日干しによる熟成を経た新米を、去年収穫されたお米で食べ比べを行った。新米は去年収穫されたお米に比べ甘味と柔らかさが格段に良くなっており大変美味しかった。



今後の計画・目標

- 調査によって得た情報を参考に、棚田米のPR方法を考案し実施
- 岡山市や倉敷市など他の市との繋がりを広げ棚田米のPRを行う

担当教員：黒田正博、大藪亮

所属学生16名

ポスター作製：中原妃華理、柳田優稀美